

但馬ピーマンの有望品種

但馬地域での夏秋どりピーマンについて、「京波」に代わる品種を検索する目的で、品種比較栽培を行った。「みおぎ」は収量が多く、「はばたき3号B」は尻腐れが少なく有望な品種であった。

内容

「京波」は現在、但馬ピーマンの主体であるが、盛夏期の肥大不良や果形の乱れを指摘されている。しかし、すべての形質で「京波」より優れている品種が見あらず、品種更新はされていない。そこで、数年間の試作で有望とみられる8品種を栽培し、収量、品質等について「京波」と比較した。

収量が「京波」より多かったのは、「みおぎ」、「はばたき3号B」であった(図)。また、尻腐れは、「オールマイティ」では発生がみられず、「ピクシー」、「はばたき3号B」は「京波」と同程度であった(表)。

現地での栽培を考えると、果色、果形などもある程度「京波」と似ている方が望ましい。

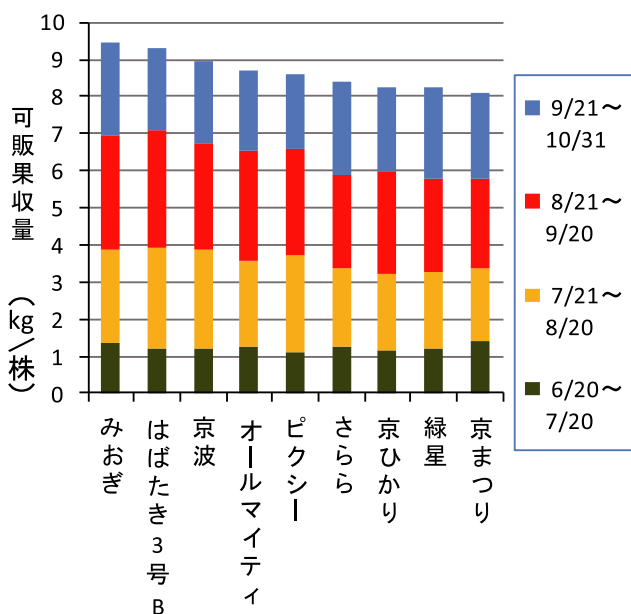


図 時期別の1株当たり可販果収量は種日：2月20日、定植日5月9日

供試した品種の中で、「オールマイティ」、「ピクシー」は盛夏期には、果径に比べ果長が短いベル型に近くなった。「はばたき3号B」、「さらら」、「京まつり」は果形は優良であるが、果色は「京波」よりもやや濃かった(データ略)。

以上のことを踏まえて「みおぎ」と「はばたき3号B」を有望品種として、継続して適応性の検討を行っていく。

今後の方針

現地での商品性や病害抵抗性を検討する。

竹川 昌宏(北部 農業・加工流通部)

(問い合わせ先 電話：079-674-1230)

表 不良果の1株当たり発生数

品種	総収穫 果数	不良果数			
		尻腐れ	変形	日焼け	着色
みおぎ	250	5	2	3	2
はばたき3号B	258	1	1	2	9
京波	245	1	2	2	7
オールマイティ	210	0	0	2	3
ピクシー	222	1	0	1	6
さらら	214	3	1	2	2
京ひかり	221	7	1	2	2
緑星	208	9	1	2	3
京まつり	215	18	2	2	3



みおぎ

はばたき3号B

京波